中小企業あきた

1 地区別組合代表者懇談会を開催 …… 1
2 日銀小田秋田支店長が来所～県内中小企業の動向等について意見交換～ … 4
3「地方創生」に向けて秋田労働局長へ要望 …… 5
○景況レポート８月分 …… 5
○組合相談コーナー …… 7
○話題の広場
中央会事業より …… 7
支援団体活動レポート …… 8
新設組合紹介 …… 9
インフォメーション …… 9
組合ティールーム …… 10

10
OCTOBER.2014

TOPICS 1 地区別組合代表者懇談会を開催

【9月11日（木）秋田地区】

本会では、組合代表者の皆様から業界（組合）の現況と課題、中小企業施策に係る意見・要望等を広く伺うことで、組合の課題解決はもとより、組合同士の連携・協調や地域経済の活性化に結びつけることを目的に毎年「地区別組合代表者懇談会」を開催しています。

今年度は、8月26日（火）から9月11日（木）まで県内6ヶ所において開催し、本会からは平成26年度重点事業や昨年度の同懇談会で出された意見・要望等に対する経過報告を行ったほか、各地域振興局の担当者から「中小企業振興条例と県の中小企業支援施策」について、また、市の担当者からは、市が実施している中小企業施策等についてそれぞれ情報提供が行われました。

なお、意見交換で出された各業界（組合）の要望等は、「佐竹秋田県知事との懇談会」や国・市などへの要望活動につなげ、今後の中小企業・小規模事業者への支援や地域経済の活性化に反映させていくこととしています。

以下に、組合代表者等から出された主な意見・要望についてご紹介します。

国への要望等

【食品製造業】

① 消費税の軽減税率の導入には、買いたたきが予想されることから反対である。

② 輸入小麦の関税引き下げと小麦価格の引き下げをお願いしたい。

【縫製業】

① 最低賃金の引き上げは、小規模事業者にとっては大きな負担となることから、小企業に対する支援対策をしっかりと考えてほしい。

② 外国人技能実習生は、国内に3年間のみの滞在となっているが、その間、雇用保険料・社会保険料を支払わなければならず不合理であり、企業負担にもなることから是正をお願いしたい。

③ 育児休業時の社会保険料の免除を検討してほしい。

【窯業･土石】

消波ブロックの製造について、災害時への対応等も考慮し、受注生産でなく在庫をストックできるようにしてほしい。

【小売業（みやげ品）】

バス料金の値上げに伴いツアー代金が上昇しており、交流人口の減少から観光産業の弱体化が懸念されるため、規制緩和等により対応してほしい。

【8月26日（火）湯沢地区】

【商店街】

① 地域商店街活性化事業（にぎわい補助金）については、消費税分が自己負担となっているが、非課税事業者については、消費税も補助対象にしてほしい。

② 当商店街では、地域商店街活性化事業（にぎわい補助金）を活用し、イベントを実施する予定であるが、採択までの期間が長く、実施目途が立たないことからある程度予定を明確にしてほしい。また、申請書の作成についても簡素化してほしい。

【自動車整備業】

当業界では、車検時の重量税の立て替え等を行っている。自賠責保険については、手数料をもらっているが重量税や印紙代はもらえないため、手数料を受け取れるようにしてほしい。

【介護サービス業】

国は、在宅介護を推奨しているが、除雪が在宅介護の大きな妨げとなっている。現在の介護保険制度では除雪が対象になっていないため、対象項目に加えてほしい。

【運輸業】

① 「ガソリンの平均価格が3か月連続で1リットル160円を超えた場合、揮発油税の上乗せ税率分である25.1円の課税を停止する」というトリガー条項は、震災をきっかけに凍結されているが解除してほしい。

② 漁船や一部の貨物列車等は軽油引取税が免税となっているため、トラックも免税にしてほしい。

【建設業】

① 人口減少は、県内産業にとって大きな問題であるため、事業所が子育て手当を出した場合に、国・県等が手当に上乗せして助成する、或いは各種税金の税額控除を行うなどの仕組みを構築してほしい。

② 9月1日より、国によるリフォーム事業者団体の登録制度が開始されたが、登録の要件が高いため緩和してほしい。

【8月28日（木）横手地区】

【電気工事業】

官公需適格組合の申請を検討しているが、人員要件が厳しいため、要件を緩和してほしい。

県への要望等

【食品製造業】

県からは県内原材料を活用してほしいとの依頼があるが、価格も高くあまり品質が良くないため、加工設備を含め、地場産原材料を安価で使用できる仕組みを構築してほしい。

【縫製業】

中小企業振興条例については、分かり易い資料等を作成し、しっかり周知してほしい。

また、中小企業への支援策については、ITやエネルギー等のハイテクに加え、既存のローテクな業種についても支援してほしい。

【窯業・土石】

仕事をやりたい時期に仕事がないということがよくあるが、仕事はなくても給与は支払わなければならず、苦しい状況にある。切れ目のない提供が可能となるよう発注時期の標準化をお願いしたい。

【卸売業】

県南地域には、リンゴや山菜が豊富にあるが、採れた山菜の多くはそのまま県外へ出荷されていることはあまり知られていない。こうした山菜等についても、秋田県産ブランドとして確立できるよう支援をお願いしたい。

【9月2日（火）大仙地区】

【小売業(石油)】
県の地方部局(地域振興局)からの発注が無いため、今後は、是非、官公需適格組合である当組合を活用してもらいたい。
【サービス業】
県内の市町村では小型家電のリサイクルがほとんど実施されていない。環境・資源問題等の観点からも各自治体でリサイクルが可能な小型家電の回収を実施するように県から市町村へ働きかけてもらいたい。
【建設業】
リフォーム補助金について、成果も出ていることから引き続き実施してほしい。
【運輸業】
① 当組合は、官公需適格組合を取得しており、以前から、行政に対し当組合への発注をお願いしているが、なかなか発注件数が増加しない。県の担当者には、官公需適格組合の活用等を強く認識してほしい。
② 長距離輸送事業者について、高速道路の夜間料金の無料化、割引割合の増加と時間帯の延長について秋田県の方針として要望してほしい。

市町村への要望等

【食品製造業】
食育の観点から、農業体験等も含め、学校給食において漬物を提供してほしい。
【印刷業】
県には、最低制限価格制度を導入していただいているが、市町村においても最低制限価格制度への理解と対応をお願いしたい。
【ポイントカード】
ポイントカードを市内の施設でも利用できるよう、対応を検討してほしい。
【商店街】
① 現在、国の補助金を活用してアーケードの撤去を検討中であるが、自己負担分については、市からも支援をお願いしたい。
② 当商店街では、本年度に入り空き店舗が2店舗増加している。商店街としては、空き店舗に早く入居してもらいたいが、家賃が高いことから入居が進まない状況にある。このため、行政から地主に対し協力してもらえるよう働きかけてもらいたい。
③ 当地区の主行事である「花輪ばやし」は、年々多くの観光客が来場するが、会場が狭いため見ることができずに帰ってしまう客もいるため、駅前の整備について検討してほしい。

【9月4日(木)鹿角地区】

④ 当商店街では、個店診断や街ゼミ等を実施し個店の魅力アップに取り組んでいるが、人口減少や高齢化等の現状を踏まえ、県北地域の商店街が連携して取り組むことができるよう、行政にも協力してほしい。
【自動車整備業】
入札において、適正な価格で落札されるようにお願いしたい。また、市が管理している福祉車両の整備を組合員に発注してほしい。

中央会への要望等

【食品製造業】
中央会には、零細企業にも目を向けた支援策をお願いしたい。
【印刷業】
当社では、中央会から情報提供をいただき、新たな設備投資に関して、「ものづくり・商業・サービス革新事業」の採択を受けることができた。今後も引き続き、中小企業が活用できる支援策について情報提供してほしい。
【ポイントカード】
当組合では、昨年度、ポイントカードシステムを更新した。このシステムには電子マネー機能やメール配信機能等があるため、中央会には、電子マネーの認可申請について支援してほしい。

【商店街】

① 解体後の商店街のあるべき姿について検討が必要だが、何か良い方法があれば支援してほしい。

② アーケードの撤去について慎重に検討していきたいので、活用できる支援施策等があれば、情報提供してほしい。

【サービス業】

① 昨年度、本県において業界の全国大会を開催しており、今後も継続して秋田県内で同様な大会を開催できるよう、各方面への働きかけについて協力してほしい。

② 当組合のセレモニーホールオープンの際に、中央会の事業を活用し、従業員のスキルアップに大変役立った。今後も必要に応じた支援をお願いしたい。

③ 約4年前、当懇談会に参加させて頂いた際に、災害時における協定の提案をさせていただいた。その後、大震災により話が頓挫したが、10月8日（水）に県・全日本葬祭業協同組合連合会・当組合の3者で協定を結ぶことになった。中央会には、多方面にわたり協力をいただいた御礼を申し上げたい。

【電気工事業】

中央会の協力により大仙市のLED街路灯の交換作業等を受注をすることができた。

【骨材】

昨年、中央会の協力を頂き、地方整備局等へ要望活動行うことができた。中央会には、国との距離感を近づけてもらい大変感謝しており、今後も引き続き支援をお願いしたい。

【9月9日（火）能代地区】

TOPICS 2 日銀小田秋田支店長が来所 ～県内中小企業の動向等について意見交換～

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

9月19日（金）、日銀秋田支店の小田信之支店長等が本会を訪れ、本会の藤澤正義会長、髙橋清悦専務理事と、県内における景況感や中小企業の動向等について意見交換を行いました。

【日銀小田秋田支店長（右奥）と本会藤澤会長（左奥）】

最初に、国の経済対策が本県にどの程度波及しているか、また4月の消費税引き上げ後の需要動向と足下の変化等がどうなのかといった県内景況感の評価について情報を交換しました。

このうち、本会調査による景気動向では、4月以降のマイナス基調を転換できておらず、消費税引き上げの影響も想定の範囲内を超え、一部の業種にあっては夏場に入ってもいまだに収束していないこと等、日銀経済概況での緩やかな回復基調という報告とは対照的な結果となっている。また、円安が急激に進行しており、燃料費の高騰等が予想されることから、今後とも景気の動向を注視していくことで、意見が一致しました。

本会藤澤会長からは、秋田県の活性化のためには、次世代の若い経営者にも十分なチャンスが与えられなければならないことや、本年4月に施行された「秋田県中小企業振興条例」についても、まだまだ県内での認知度は低いため、当面は周知徹底を図りながら、その具体的なイメージやメリットを提示し、やる気のある中小企業に対しての支援を強化していく必要があること等が述べられました。

また、中小企業の事業承継についても、会社内部の問題であることから表面化しにくく常に支援の難しさがつきまとうが、株式の評価方法など課題が山積していることや人口減少・高齢化の進展が著しい本県にあっては、今後急速なスピードで大きな負担となってくることが考えられるため、迅速な対応を取るべきであることを互いに確認しました。

今後も、県内中小企業の動向を的確に把握するため、定期的に意見交換が行われる予定です。

TOPICS 3 「地方創生」に向けて 秋田労働局長へ要望

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

9月16日（火）、秋田労働局小林泰樹局長が本会を訪れ、髙橋清悦専務理事と「地方創生」に関する労働行政への要望等について懇談しました。

厚生労働省内に「まち・ひと・しごと創生政策検討チーム」を設置し、官邸に置かれる同本部と連携し、抜本的な少子高齢化対策の検討とともに、若者の東京への流出を止め、それぞれの地域で若い世代が充実した職業生活を営み、子供を育て、次世代へと豊かな暮らしをつないでいく「地方創生」に向けた施策を検討するため、幅広く経済団体等からも要望等を聴取するため実施されたものです。

髙橋専務理事からは、先の地区別組合代表者懇談会等で出された要望の中から、「企業経営者は今後、従業員の出産・子育て等少子化対策として「子育て手当」（仮称）の支給を検討しているが、これは企業内に止まらず、社会全体として一体的に取り組むべきものと認識している。その実現と促進のために、例えば県、市町村からは同額の上積み加算（補助）を、また、国からは所得税等各種の税額を控除するなどのインセンティブを図ってほしい。」「地方の運送業者は労働基準法の自動車運転者の労働時間等の改善のための基準を遵守するとなると、どうしても高速道路を利用せざるを得なくなり、コスト負担増で競争力の低下が避けられない。東京までの距離に応じた累進的割引制度を拡充してほしい。」といった要望のほか、「外国人技能実習生の社会保険料免除」等についても改めて要望しました。

小林局長からは、これらの要望は必ず同省政策検討チームに伝える旨確約をいただきました。

【小林秋田労働局長（右奥）と本会髙橋専務理事（左奥）】

景況レポート
（8月分・情報連絡員80名）

コスト上昇が懸念材料
～県内景況は依然として低調に推移～

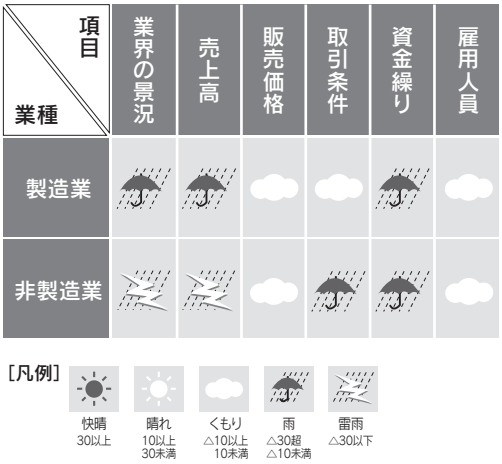
【概況】8月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが12.5%（前月調査11.4%）、「悪化」が41.3%（同39.2%）で、業界全体のDI値は－28.8となり、前月調査と比較して1.0ポイント下回った。県内景況は、一部に上向きの業種も見られるものの、依然として原材料費や燃料費の高騰が経営を圧迫しており、景気の回復を実感出来ていない状況となっている。このため、今後とも景気の動向を注視していく。

前月との比較（景況DI）

	7月	8月	増　減
製　造　業	－19.4	－18.8	0.6
非製造業	－33.4	－35.4	－2.0

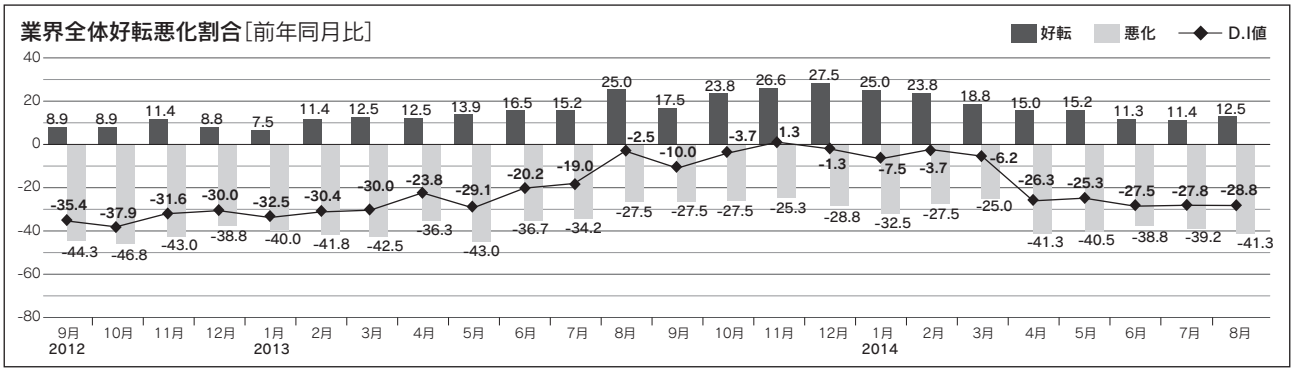
製造業のDI値は、－18.8ポイントとなり前月比で0.6ポイント改善。印刷や繊維では、原材料費や燃料費の高止まりの影響により苦戦を強いられており、食料品では、日照不足や天候不順により売上が減少した。
一方、機械金属と鉄鋼では、前月同様に民間・公共公事ともに受注が増加しており、高い稼働率を維持している。

非製造業のDI値は、－35.4ポイントとなり前月比－2.0と悪化。青果卸や電機販売業、旅行では、日照不足や天候不順により、前年同月比で売上が減少した。また、一般建築は、前月同様に民間・公共工事の受注は増加しているものの、人手不足や材料費の値上がりにより、十分な収益を確保できていない状況となっている。　（回答数：80名　回答率：100%）



［天気図の見方］前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。



業　界　の　声

食料品 （パン）	高温と天候不順の影響により、前年同月比で売上が減少した。また、依然として原材料費が高騰しており、収益を圧迫している。
繊維製品	紳士服は、燃料価格の上昇や円安の影響により物価高となったため、個人消費が落ち込み、前年同月比で売上が減少した。一方、婦人服はリピート注文が多く入ったため、売上は例年並みに推移した。
木材・木製品 （一般製材）	原木在庫量は、10,680㎥（前月9,938㎥）で前月比742㎥の増加、製品販売量も3,781㎥（同3,065㎥）で前月比716㎥の増加となった。 なお、消費の回復が不透明なため、商社及び問屋関係の取引先において、在庫調整が見られた。
木材・木製品 （プレカット）	8月の加工実績は、前年並みの加工坪数を維持できる見込みである。なお、消費税増税前の駆け込み需要による反動減の影響により、住宅着工数が前年同月比で減少した。
印刷	昨年夏以降の電気料金の値上げが大きな負担となっているほか、消費税率引き上げや円安のため諸材料の値上げが進んでおり、総体的に景気が回復しているという実感はない。また、得意先の動向からも依然として消費税増税による消費の落ち込みが続いている。（中央地区）
窯業・土石 （生コンクリート）	8月の出荷数量は、前年同月比93.8%となり、4月～8月の累計で前年比100.4%となった。なお、原材料や輸送コストの上昇に加え、不調や不落による工事の遅れが生じているため、平成26年6月以降、出荷数量が前年同月比を下回る状態が続いており、各社の経営を圧迫している。
鉄鋼・金属（鉄鋼）	8月は民間工事、公共工事ともに受注が増加しており、各社とも11月～12月頃までの仕事を確保している。
一般機械	受注動向は上向き傾向にあるが、原材料の値上がり分を価格転嫁できておらず、前年同月比で収益が悪化した。また、取引条件は短期物が多いため、前月同様に厳しい状況となっている。
その他の製造業 （漆器）	8月は、組合単独では「蔵出し市」の開催、工芸館では「木地山系こけし展」が開催され、予想を上回る盛況となったため、前年同月比で売上が増加した。
卸売（商業卸）	前月同様、消費の低迷により日用雑貨や文房具事務用品関係は前年同月比で売上が減少した。一方、包装資材や建具関係は、前年同月比で横這いに推移した。
小売（青果卸）	8月の売上は、前年同月比89.6%で推移した。8月は日照不足や大雨被害により、全国的に農産物の価格が高騰したため、売上が低調に推移した。
小売 （石油販売）	ガソリンは1ℓあたり166円60銭で前月比1円10銭の値下がり、軽油は1ℓあたり147円10銭で前月比50銭の値下がり、配達灯油は18ℓで1,944円と前月比4円の値上がりとなった。市況が悪化しているため、収益を確保できず苦戦を強いられている。
小売 （電機販売）	8月は、日照不足や天候不順の影響から、エアコン等の夏物商品の需要が減少した。また、白物家電も前年同月比で売上が減少しており、打開策に苦慮している。
商店街	組合脱退の申し出が複数寄せられ、組合員数の減少に伴う収入減によりアーケードや駐車場の維持管理に影響を及ぼすことが予測され、対応が急務となっている。（大館市）
サービス （旅行）	国内旅行の売上は、天候不順や消費税増税に伴う諸経費の高騰により前年同月比82.0%となった。一方、海外旅行は、航空券等の値上がりや燃料価格の上昇等によりツアー代金が高騰したため、前年同月比91.0%で推移した。
建設業 （一般建築）	官庁や民間工事の受注が増加している。しかし、依然として人出不足や材料費の値上がりが続いているため、官庁工事では採算が取れる条件の物件を選び、入札に参加している。
運輸業 （トラック）	荷動きは、前年同月比でやや回復傾向となっているが、満足できる状況ではない。また、依然として燃料価格の上昇や平成26年4月から変更となった高速道路通行料金の値上げが経営を圧迫している。
その他の製造業 （砂利採取）	若干ではあるが、生コン用骨材の荷動きが出てきている。なお、路盤材は原材料不足、RC材は品不足という状況となっている。（県南地区）

組合相談コーナー　消費税率引き上げに伴う「転嫁カルテル」及び「表示カルテル」について

Q　組合が行う「転嫁カルテル」及び「表示カルテル」について教えて下さい。

A　平成26年4月1日からの消費税率の引き上げに伴い、**平成26年4月1日～平成29年3月31日までの間における商品又は役務の提供を対象として**、公正取引委員会へ事前に届出を行うことを条件に、事業者又は事業者団体が「消費税の転嫁及び表示の方法の決定に係る共同行為」について、総会等で決議することにより、独占禁止法に違反することなく行うことができる制度が設けられています。

(1)転嫁カルテル＝消費税の転嫁の方法の決定に係る共同行為

（転嫁カルテルは、参加事業者の3分の2以上が中小企業者であることが必要です。）

①各事業者がぞれぞれ自主的に定めている本体価格に消費税分を上乗せする旨の決定

②消費税率引き上げ分を上乗せした結果、計算上生じる端数を切り上げ、切り捨て、四捨五入等により合理的な範囲で処理する旨の決定（例　本体価格98円×8%＝消費税額7.84円→8円）

(2)表示カルテル＝消費税についての表示の方法の決定に係る共同行為

（表示カルテルは、全ての事業者や事業者団体に認められます。）

①消費税率引き上げ後の価格について統一的な表示方法を用いる旨の決定

（例）「税込価格」と「消費税額」とを並べて表示する旨の決定

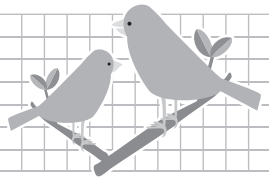
「税込価格」と「税抜価格」とを並べて表示する旨の決定

個々の値札に、税抜き価格を表示した上「＋税」と表示する旨の決定

②価格交渉を行う際に税抜き価格を提示する旨の決定

※　消費税転嫁対策については、専門家派遣事業（無料）も実施しておりますので、本会商業振興課までお問い合わせ下さい☎ 018-863-8701

話題の広場



中央会事業より

6次産業化出前講座の開催組合を募集！

本会では、秋田市から「6次産業化人材発掘・育成研修事業」の委託を受け、6次産業化や農商工連携に取り組む人材の発掘と育成等を目的に、**秋田市内の事業者や農業者等を対象として**、「出前講座」や加工・販売のための「講義・加工実習研修」の実施及び商工業者とのマッチング機会の提供等を行っています。

この「出前講座」は、無料で講師を派遣し、6次産業化及び農商工連携の始め方や、事業主を成功へ導くためのコツなどを分かりやすく解説するほか、加工品開発や販売等に取り組む実践者による事例紹介などを行うものです。

なお、「出前講座」は全4回の開催を予定しておりますので、開催を希望する会員組合は、お気軽にご相談下さい。

【お申し込み・問い合わせ先】　本会事業振興部　工業振興課（担当：谷口・稲葉）　☎018-863-8701

【開催事例：第1回（8月28日（木））】

開催団体：秋田市農産加工品等販売促進協議会（参加者28名）

講　　師：金沢大学　教授　大友信秀氏

テ ー マ：「名は体を表す～伝える!飾る！偽る!?ネーミングの力～」

内　　容：「効果的な商品名の付け方」や「商標登録について」等、ネーミングによる販売戦略のポイントについて分かりやすく紹介した。

【出前講座の様子】

6次産業化とは：1次産業×2次産業×3次産業=6次産業という考えに基づき、1次産業の農林漁業者が生産だけではなく、加工、流通・販売にも取り組み、売上や利益増加に繋げ、農業の活性化を目指すものです。農商工連携との主な相違点は、農商工連携は商工業者と農林漁業者との連携体が支援対象であるのに対し、6次産業化は農林漁業者が直接支援対象となります。

第18回中小企業団体ゴルフ大会を開催

9月24日（水）、秋田市の「秋田カントリークラブ」において、第18回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。本大会は、本会会員並びに関係機関相互の交流促進を目的に毎年開催しているもので、今年も多くの会員組合や企業から協賛を頂きました。

当日は、天候にも恵まれ、県内各地から参加した42名が自慢の腕を競い合い、大自然の中でのプレーを楽しみました。

大会の結果、秋田県環境整備事業協同組合の中村喜正氏（株式会社昭和興業）が、ネット72.6で優勝しました。

また、プレー終了後に行われた表彰式では、参加者がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。

【結果】
優　勝　中村　喜正氏（秋田県環境整備事業協同組合）
準優勝　五嶋　建二氏（秋田県印刷工業組合）
第３位　深川　雅通氏（秋田市工業団地協同組合）
ＢＧ賞　武田　弘一氏（秋田県鳶土木事業協同組合）　75

【プレーの様子】

【優勝：中村喜正氏（右側）】

支援団体活動レポート

平成26年度第1回研修会・懇親会を開催　～秋田県中小企業組合士会～

9月12日（金）、第一会館本館（秋田市）において、秋田県中小企業組合士会（堀川深雪会長）の平成26年度第1回研修会が開催されました。

今回の研修会には、「組合運営の一助として、資質向上を図りたい」といった共通の目的を持つ秋田県中小企業団体事務局協議会（佐藤弘幸会長）にも広く参加を呼びかけた結果、両団体から43名が参加しました。

研修会では、秋田大学教育文化学部の髙田知恵子教授を講師に、「自分自身を知り、よりよい人間関係を築くために」と題し、「相手を理解してあげようという心構えでいると人付き合いが楽になる」、「相手を褒める言葉や自分を褒める言葉などなるべく肯定的な表現をする」等、自身のカウンセリングでの経験を交えながら、職場や家族とのコミュニケーションに関するアドバイスが行われ、参加者は熱心に聴講しました。

研修会終了後に会場を移して開催された懇親会では、参加者同士が終始和やかな雰囲気の中で交流と親睦を深めるなど、有益な情報交換の機会を設けることができました。

秋田県中小企業組合士会と秋田県中小企業団体事務局協議会では、今後も交流や情報交換の機会を設け、相互に資質向上を図っていくこととしています。

【研修会の様子】

企業活動成果発表会を開催　～あきた工業団体連絡協議会・秋田県アパレル産業振興協議会～

9月9日（火）、秋田県産業技術センター（秋田市）において、あきた工業団体連絡協議会（須田精一会長）の第2回企業活動成果発表会が開催され、会員団体等から90名が参加しました。

成果発表では、秋田県アパレル産業振興協議会（佐々木繁治会長）の会員企業である秋田ファイブワン工業株式会社（佐賀善美社長）と株式会社弘商（鈴木健志社長）の2社を含む6社による取り組みについて発表が行われ、秋田ファイブワン工業株式会社からは、ボトムアップ式の自己啓発型工場を目指し、気づき活動による業務改善に取り組んだ結果、従業員の問題解決力が向上した事例が、また、株式会社弘商からは、着用時に見栄えがする商品改良とExcelによる納期管理システムの導入等により小ロット・短サイクルを実現した事例がそれぞれ紹介されました。

なお、審査結果については、10月22日（水）に開催されるあきた工業団体連絡協議会通常総会席上にて発表され、最優秀企業1社に秋田県知事賞が贈呈される予定となっています。

また、9月13日（土）には、アキタパークホテル（秋田市）において秋田県アパレル産業振興協議会の「若手従業員育成セミナー」が開催され、会員企業各社から23名が参加し、作業動作の改善を進めるための着眼点や動作のポイント等について研修が行われました。

【企業活動成果発表会の様子】

新設組合紹介　秋田いぶりがっこ協同組合

鈴木理事長

【組合の紹介･PR】　「いぶりがっこ」は、秋田の気候、風土により育まれた伝統的な漬物で、本県を代表する発酵食品ですが、人口減少や高齢化により県内需要の先細りが懸念されています。一方、近年では、「いぶりがっこ」の知名度が向上し、首都圏を中心に需要が伸びてきたため、県外でも「いぶりがっこ」が製造されるようになってきました。

そこで、県内でいぶりがっこの製造、加工を行っている9事業者で協同組合を設立し、共同購買及び共同受注事業を通じ、コスト削減や受注体制の強化を図り、市場競争力を高めることで、県外市場への販路拡大に努めていくことにしました。

また、組合員が共同で、製造方法やブランドの確立に関する調査研究等を行っていきます。

【理事長から一言】

当組合は、大仙市、横手市、湯沢市、雄勝郡でいぶりがっこの製造･加工を行う事業者が集まり設立しました。

今後は、共同事業の実施を通じ、組合員の経済的負担軽減を図りながら販路拡大を目指すとともに、「秋田いぶりがっこ」ブランドを確立すべく、積極的に活動して参ります。

- **所 在 地**　大仙市協和稲沢字釜ノ川沢 32
- **代表理事**　鈴木　辰美
- **出 資 金**　450,000 円
- **組合員数**　9 名
- **主な事業**　共同購買、共同受注、調査・研究、教育及び情報の提供
- **成立年月日**　平成 26 年 9 月 24 日

インフォメーション

第34回秋田県特産品開発コンクール表彰式が開催

9月22日(月)、市場性・商品性・品質デザイン等に優れた作品を表彰する「第34回秋田県特産品開発コンクール表彰式」が秋田市のアルヴェで行われ、加工食品部門79点、食の新人賞部門11点計90点の中から、次の2点が奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)を受賞しました。

受賞商品は、アトリオン地下1階「あきた県産品プラザ」にて販売中ですので、是非、お試し下さい。

【お問い合わせ先】　株式会社秋田県物産振興会　☎018-836-7830

～ 奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)受賞商品 ～

「神の魚物語り」
株式会社鈴木水産
(代表取締役鈴木勇)

【商品紹介】　魚偏に神と書く鰰とアイヌの民が「カムイチェプ(アイヌ語で“神の魚”)」と呼ぶ鮭が「神の魚」と呼ばれています。この2種類を秋田県が開発した「あめこうじ」で漬けこみ、ミネラル豊富な「白神の塩」と「白神こだま酵母」を加え、独自の製法で熟成させています。

**「秋田県産
プレミアム馬肉シチュー」**
秋田内陸縦貫鉄道株式会社
(代表取締役佐々木琢郎)

【商品紹介】　芳醇で濃厚なデミグラスソースと脂肪分の少ない赤身の馬肉は相性が良く、レトルトとは思えない質の高いシチューに仕上がりました。ターメリックライスやライ麦パン、赤ワインとの相性は最適です。

秋田県の最低賃金が改定されます　（秋田労働局）

10月5日（日）から秋田県の最低賃金が現在の665円（1時間あたり）から14円引き上げられ、679円に変わります。

※最低賃金は全ての労働者に適用されます。最低賃金額よりも低い賃金を労使合意の上で定めても最低賃金法によって無効とされ、最低賃金額と同様の定めをしたものとみなされますので、事業主の皆さまはご注意下さい。

【お問い合わせ先】　秋田労働局労働基準部賃金室　☎018-883-4266

秋田県の最低賃金（1時間あたり）
679円
発効日　平成26年10月5日

「成長の基盤たる競争政策と公正取引委員会」講演会のご案内　（公正取引委員会）

公正取引委員会は、独占禁止法等を運用する行政機関で、平成26年4月からは消費税転嫁拒否行為に対する勧告・公表などを積極的に行っています。このたび、公正取引委員会の活動内容を広く知ってもらうとともに、公正取引委員会に対する意見・要望を伺うための講演会を開催することにしましたので、是非、ご来場下さい。（参加無料、定員70名）

○開催日時：平成26年10月29日（水）　13：30 ～ 15：00
○会　　場：秋田市にぎわい交流館AU　4階　研修室1, 研修室2

【お問い合わせ先】　公正取引委員会事務総局東北事務所総務課　☎022-225-7095

締切迫る!!平成26年度中小企業組合検定試験の受験者を募集中！

中小企業組合検定試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方については、全国中小企業団体中央会から組合運営のエキスパートである「中小企業組合士」として認定されます。

本会では、11月に受験対策講座を開催する予定ですので、是非、本講座を活用して、中小企業組合士を目指しましょう！

試 験 日：平成26年12月7日（日）
試験会場：秋田県社会福祉会館
申込締切：**平成26年10月15日（水）**
受験科目：組合会計、組合制度、組合運営（3科目）
受 験 料：5,000円（一部科目免除者3,000円）

【お問い合わせ先】　本会企画広報課　☎018-863-8701

組合ティールーム　秋田県中小企業青年中央会

会長　佐藤　　潤さん

○秋田県中小企業青年中央会について

秋田県中小企業青年中央会は、中央会の会員組合及び傘下企業の青年経営者等で組織する団体です。現在、28組合の青年部と、個人会員1名が加入しており、人脈の醸成及び新たなビジネスチャンスの発掘を目的として、情報化の推進や、会員の資質向上及び会員相互のコミュニケーションを図るための交流会やセミナー等を実施しています。

また、昨年11月に、災害時の連携体制を構築し、地域社会と経済の活性化に向けた活動に取り組む目的で、5団体（秋田県中小企業青年中央会、秋田県商工会議所青年部連合会、日本青年会議所東北支部秋田ブロック協議会、秋田県農業協同組合青年部協議会、秋田県商工会青年部連合会）による「秋田県青年団体連絡協議会」を設立しており、今後、異業種交流の場が広がるよう、積極的に働きかけていきたいと考えています。

○座右の銘について（普段心がけていること）

「お客様の目線に立った店づくり・ものづくり」を心がけています。

人口減少率トップの本県においては、地域で商売を続けていくのは難しいですが、歩道や店前をきれいにしたり、ディスプレイの工夫や笑顔での接客等を心がけ、できることから取り組んできましたし、すぐには売上に繋がらなくても、やり続けることによって結果がついてくることを経験しました。現在は、全国商店街支援センターの繁盛実践サポーターとして、県内外で成功体験をお話ししています。

○趣味について

オートバイ、スキー、釣りなどアウトドアが大好きです。特に、オートバイは、20代の頃モトクロスをやっていたこともあり、今でも、オフロードを走る方が好きです。なかなか時間が作れませんが、休みが取れたら、ツーリングに出かけたいです。

官公需適格組合
『カ デ ル』

秋田管工事業協同組合

理事長　髙橋　正男
副理事長　山岡　緑三郎
〃　本多　秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161／FAX 018(824)5685

秋田流通サービス事業協同組合

㈱出羽運輸
㈲川津商事
六郷小型貨物自動車運送㈱
㈱仙建
㈲藤原運送
角間川運送㈱
エコー運輸㈱
㈱岡部興業
里見運送㈲
千歳運送㈲
姉崎商運㈱
豊幸商事運輸㈲
ヨコウン㈱
田沢湖運送㈱
湯沢運送㈱
㈲北國急行
合資会社塩喜運送
㈲丸橋運輸
㈱三ウラ産業
大曲小型貨物自動車運送㈱
十文字運送㈱
川連運送㈱
㈱美郷運輸

※順不同

〒013-0001　秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561　FAX 0182-33-1299

鉄骨・橋梁・建築・耐震補強
国土交通大臣認定Hグレード

千代田興業株式会社

がんばろう！東北
akita steel-rib fabricators association

代表取締役社長　藤澤　正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反170－49
TEL 018(864)6200㈹
建設事業部：秋田市川尻町字大川反170－19
TEL 018(888)3666

リースと保険のご相談は

保険&リース
株式会社 北日本ベストサポート

〒010-0967
秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888
FAX.018-883-1822
URL http://www.knbs.jp

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。

まごころと技術でこたえる・・・
株式会社 秋田クボタ
〒011-0901　秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel : 018-845-2121　Fax : 018-845-6600

秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。

ホテル メトロポリタン秋田　〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222

出向・移籍の専門機関

公益財団法人 産業雇用安定センター

従業員の再就職や出向を無料で支援します

人材を必要としている企業の皆様へ

「全国から就業可能な方をご紹介します」

「受入したい、という情報を募っています」

雇用調整を検討している企業の皆様へ

「一定期間の出向受入先を斡旋し、雇用を守ります」

「やむを得ない場合は移籍再就職先を紹介します」

公益財団法人産業雇用安定センターのプロフィール

- 経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です
- 全国ネット、47都道府県の事務所でサポート
- 費用はかかりません

公益財団法人産業雇用安定センター 秋田事務所

〒010-0951
秋田県秋田市山王3丁目1-7　東カンビル4階
TEL.018-823-7024　FAX.018-883-4215

秋田市竿燈会監修

「秋田竿燈まつり」カレンダー《2015年版》今秋発売予定！

◉縦615×横305mm
◉13枚綴（12ヶ月+表紙）
◉フルカラー

販売価格◉1,000円（税込み）

発売時期および購入方法は、決定次第新聞、ホームページにておしらせいたします。

秋田活版印刷株式会社

〒011-0901秋田市寺内字三千刈110-1
TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505
E-mail:info@kappan.co.jp　URL http://www.kappan.co.jp/

2014 10 Oct

中小企業あきた
平成26年10月1日発行（毎月1日発行）第653号
発 行/秋田県中小企業団体中央会　〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47　☎ 018-863-8701　FAX 018-865-1009　印 刷/秋田活版印刷(株)　定価280円